

# 阪神高速における 震災経験・教訓の伝承に向けた取り組み



# 兵庫県南部地震の概要

- 発生時刻: 1995年(平成7年) 1月17日 午前5時46分
- 震央位置: 淡路島北部 震源深さ: 16km
- 地震規模: マグニチュード7.3  
(最大加速度 818gal(神戸海洋気象台))



# 阪神高速の主な被災状況①

## 635mにわたるピルツ橋の倒壊



## RC橋脚のせん断破壊

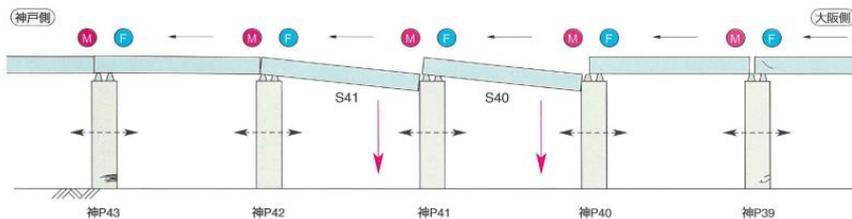
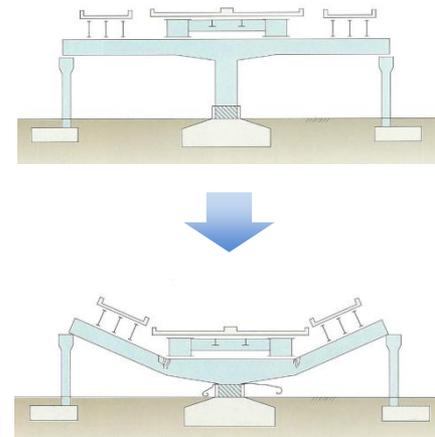


# 阪神高速の主な被災状況②

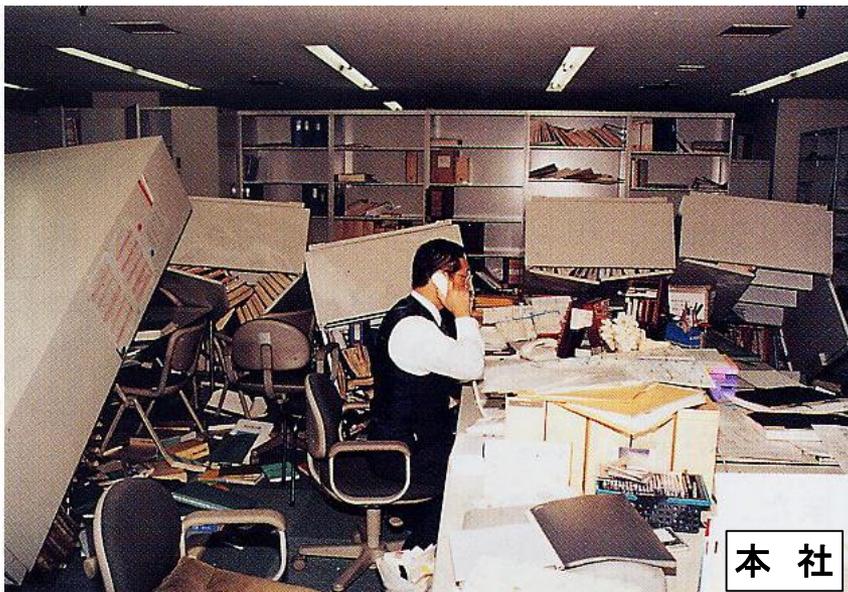
単純桁の落橋



鋼製柱の崩壊



# 地震直後の阪神高速の庁舎内の様子



# 復旧の主な経緯

## 平成7年(1995年)

1/17 兵庫県南部地震 発生

1/30 神戸線ピルツ区間の撤去完了

## 平成8年(1996年)

9/30 神戸線全線開通へ

地震発生から623日で全線開通



# 震災資料保管庫の整備

- **阪神・淡路大震災での被災、復旧経験を風化させることなく後世に継承していくことを目的に開設**
- **行政関係者や専門技術者、小学校の地震防災学習の観点での見学など、多くの方々が来場。年間2,000名を超える方が来場**
- ※ 「土木学会選奨土木遺産」に認定(2018年度)



震災資料保管庫 全景



内部(エントランス)部分

## 震災・復旧と施設のあゆみ

1995.1.17	兵庫県南部地震発生
1995.9.1	阪神高速5号湾岸線開通
1996.9.30	阪神高速3号神戸線全線開通
1999.10	震災資料保管庫完成
2009.12.18	震災資料保管庫リニューアル
2010.1~	震災資料保管庫一般公開開始



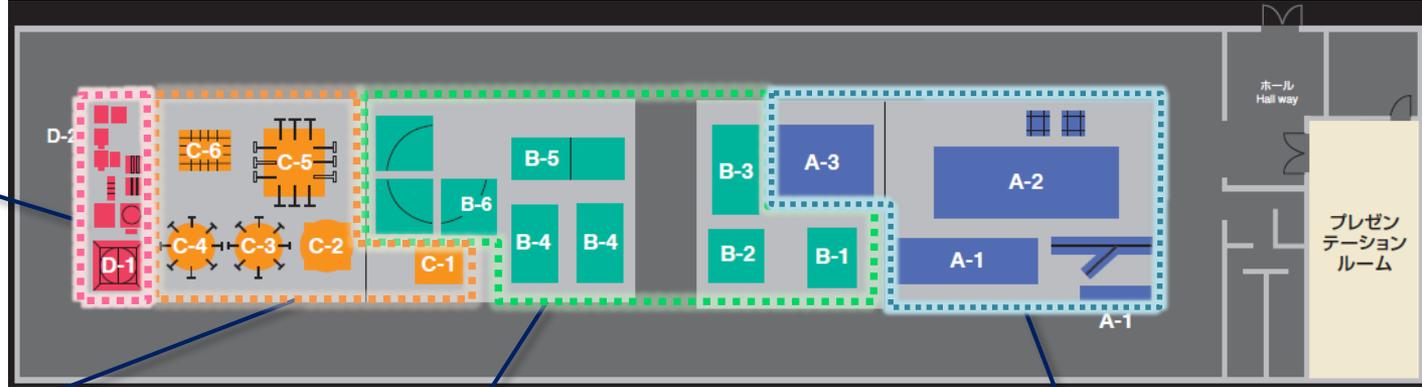
一般公開の様子

# 震災資料保管庫の整備

阪神淡路大震災で実際に被災した特徴的な構造物を30点以上展示 (展示構造物: 鋼上部構造物 3、RC橋脚 6、鋼製橋脚 6、支承構造一式)



支承



被災構造物の配置図



鋼製橋脚

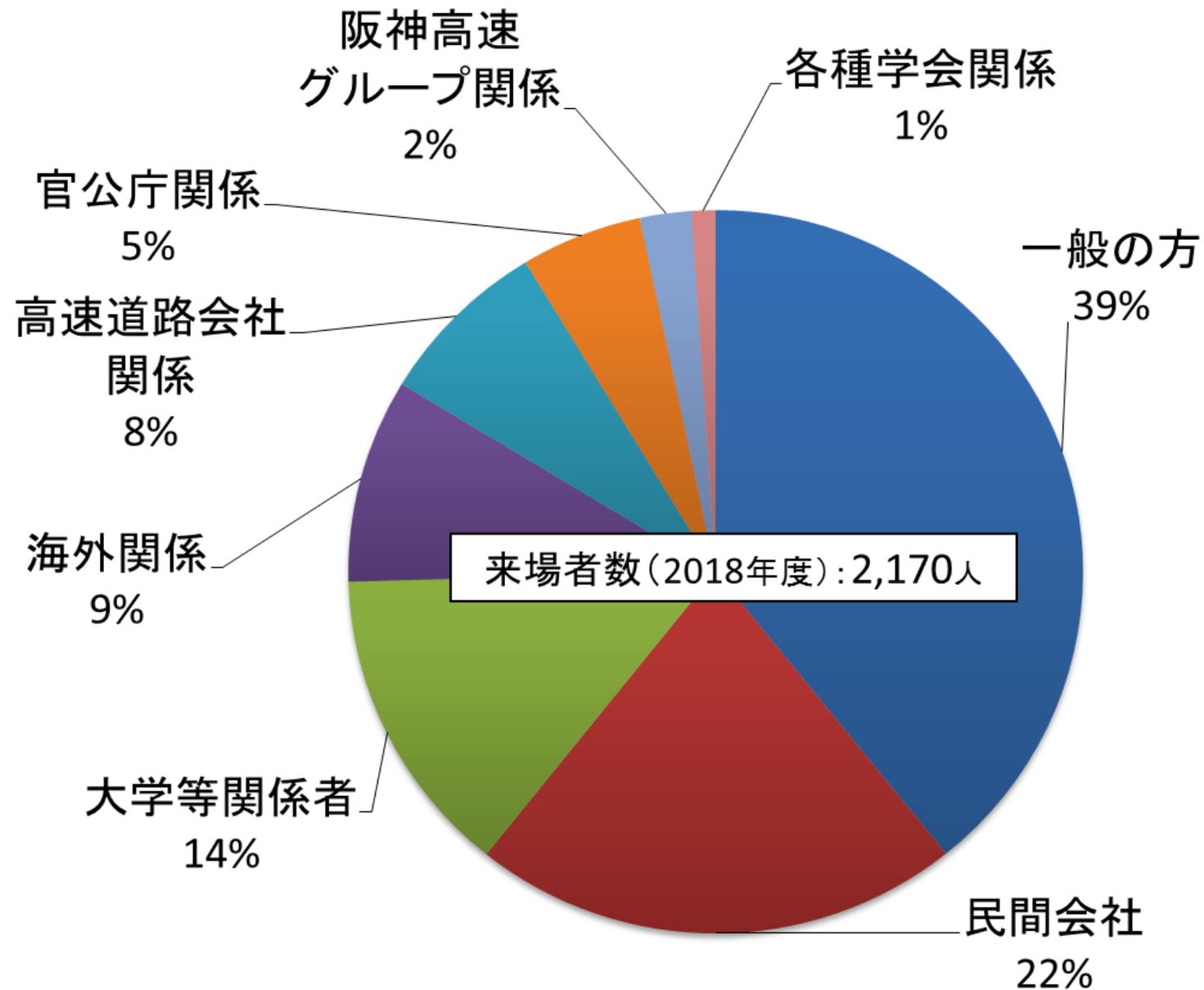


コンクリート橋脚



鋼上部構造物

## 震災資料保管庫への来場者の内訳



# 震災資料保管庫の基本コンセプト

地震で失ったもの、

伝えるべきもの、

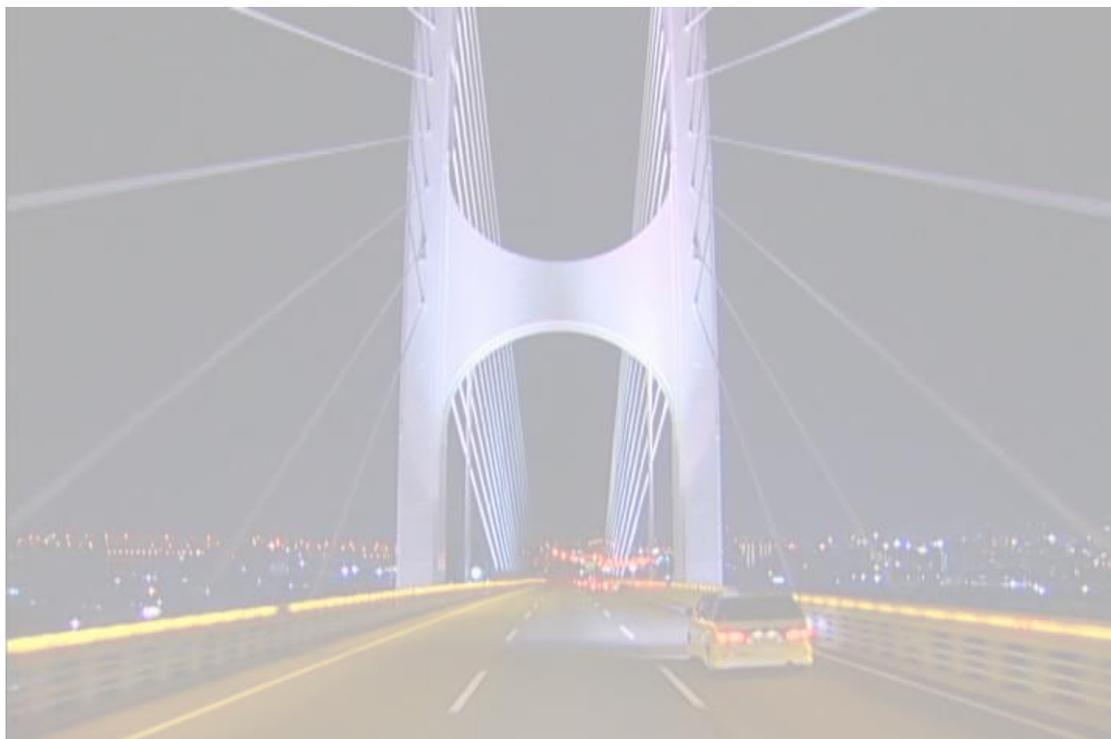
そして活かさなければならぬもの

安全・安心の原点を見つめ続けるための礎にしたい  
活かさなければならぬことは限りない

## ■慰霊碑の建立

私たちは、兵庫県南部地震で阪神高速に関係して失われた尊い命を慰霊し、この甚大な災害を教訓に、より安全な道路づくり、道路サービスを目指すことを誓っています。





**ご清聴ありがとうございました**



**阪神高速**

先進の道路サービスへ